



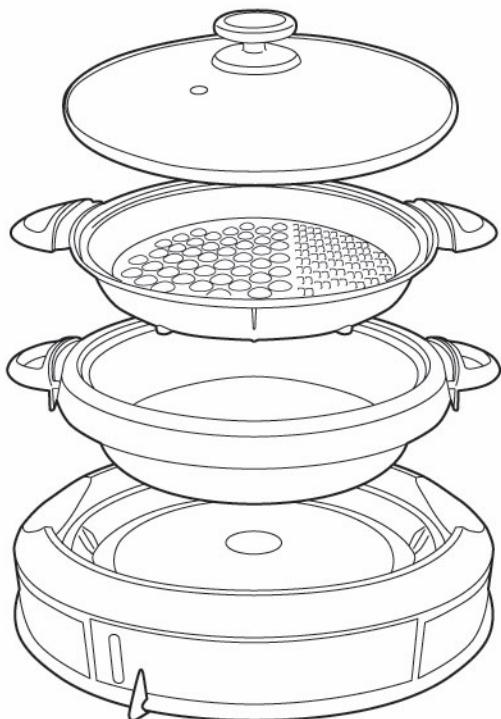
ご使用になる前に
この取扱説明書(保証書付)
を最後までお読みのうえ
正しくお使いください。

一般家庭用

電気グリルなべ

SGW-1300

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1～3
ご使用上の注意	3
各部の名称	4
使いかた	5～6
お手入れと保管	7～8
故障かな?と思ったら	9
仕様	9
アフターサービスについて	10

お買上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じた
とき、きっとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



●記号は「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

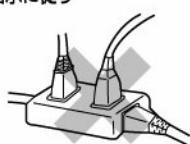
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告



交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用する。電源プラグは根元まで確実に差し込む



●交流100V以外での使用、または延長コードやたこ足配線などで使用すると感電やコンセント部が異常発熱して発火や火災の原因になります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない



●発火したり、異常動作してけがの原因になります。
※修理はお買上げの販売店へご相談ください。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない



●不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電やけがの原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



●感電・ショート・発火の原因になります。



包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

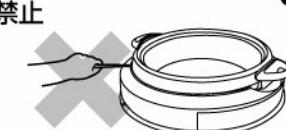


指示に従う

●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない



●感電や異常動作してけがをする原因になります。



定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない



指示に従う

●ピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

警告



指示に従う

使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する



- 感電や発火のおそれがあります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくはお手入れをしたり、持ち運んだりしない。ガラスふたや深鍋プレート、焼き肉プレートなどの高温部に触れない手や顔を近づけない



- 高温ですのでやけどの原因になります。特に乳幼児には注意してください。
- お手入れなどは必ず本体が冷えてからおこなってください。



本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない
水ぬれ禁止

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



禁止

電源プラグやマグネットプラグをなめさせない
●乳幼児が誤ってなめないように注意してください。感電やけがの原因になります。



禁止

揚げ物料理には使用しない

- 火災の原因になります。



禁止

子どもだけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない

- やけど・感電・けがをする原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や、感電の原因になります。※結束バンドは必ずはずす。



禁止

マグネットプラグ、マグネットプラグ受けに金属物などを付着させない

- ショートして、火災・感電の原因になります。



禁止

通電したまま放置するなど、使用中はその場を離れない

- 過熱により調理物が焦げたり、火災や故障の原因になります。



禁止

使用中や使用直後は、加熱板が熱くなっています。絶対にさわらない

- やけどの原因になります。



指示に従う

電源プラグ、マグネットプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグ、マグネットプラグを持って引き抜く

- 感電やショートして発火する原因になります。



長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く



- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

不安定な場所やカーテンなどの燃えやすいものの近く、畳、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱いもののかた上に使用しない

- 火災や事故の原因になります。



禁止

調理以外の目的で使用しない

- 火災、やけど、故障の原因になります。



禁止

本体のプラスチック(樹脂)部分に油を付着させたままにしない

- ご使用する油の種類によってはプラスチック(樹脂)を侵すものがあり、破損してけがや事故の原因になる可能性があります。油が付着した場合はきれいに拭き取ってください。

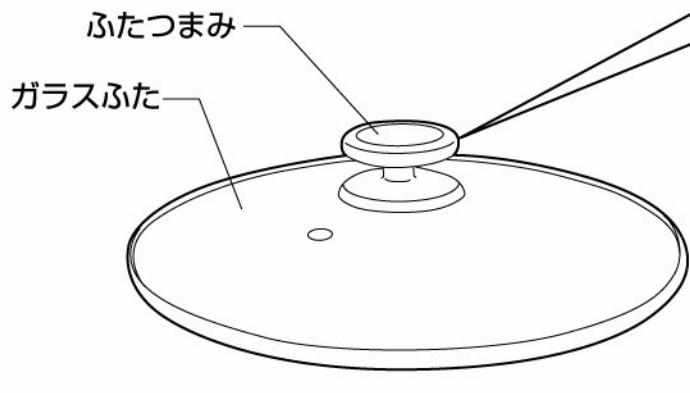
⚠ 注意

 <p>禁止</p> <p>火気(コンロ・ストーブ)などの近くや水・油のかかるところでは使用しない ●変形や破損、感電や火災の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>壁や家具の近くで使用しない ●蒸気または熱で壁や家具を傷めたり、変色や変形の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない ●本製品に無理な負担がかかると、火災や故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>調理物以外のものをプレートに直接のせて加熱しない(缶詰や瓶詰めなど) ●缶または瓶が破裂したり赤熱してやけどやけ火をすることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>専用の電源コード以外を使用したり、他の機器に使用しない ●発火や故障の原因になります。</p>	 <p>指示に従う</p> <p>お手入れは十分に冷えてからおこなう ●高温部に触れ、やけどのおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>強い衝撃を与えない ●本体やガラスふたに強い衝撃を与えると、破損や故障、感電の原因になります。また、プレートはフッ素樹脂加工が施されており、フッ素樹脂加工がはがれる原因になります。</p>	
<p>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない</p> <p>●製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になる場合があります。 お手入れはぬるま湯か中性洗剤などを使用してください。 ※洗剤の種類によっては、中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用ください。 プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の原因になる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかりと拭き取ってください。</p>	

ご使用上の注意

 <p>禁止</p> <p>深鍋プレートや焼き肉プレートに、料理の残りや水を入れたままの状態で放置しない ●フッ素樹脂加工がはがれ、プレートが腐食する原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>深鍋プレートや焼き肉プレートは金属製のヘラやナイフを使用しない ●フッ素樹脂加工面が傷つき、腐食の原因になります。市販の耐熱樹脂製ヘラか木製ヘラをご使用ください。</p>
 <p>禁止</p> <p>本体や焼き肉プレートをガスコンロなどで使用しない。また、ガスコンロで深鍋プレートのカラ焼きや焼き物、炒め物はしない ●本体が燃えたり、深鍋プレートや焼き肉プレートが変形したり、フッ素樹脂加工がはがれ腐食の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>深鍋プレートや焼き肉プレートは、ヘラの先端や角部で表面を強くこすらない。また深鍋プレートや焼き肉プレートの角部をヘラでこすらない ●プレートに傷が付く原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>深鍋プレートや焼き肉プレートをはずしたまま通電したり、深鍋プレートや焼き肉プレート以外のもの(やかんやなべなど)を置かない。また通電しない ●故障や感電、やけど、過熱して火災の原因になります。</p>	 <p>指示に従う</p> <p>ガラスふたは耐熱強化ガラス製ですが、破損防止のため次のことに注意する ●急激に冷やしたり、強い衝撃を与えたり傷をつけたり、直接火に掛けない。</p>

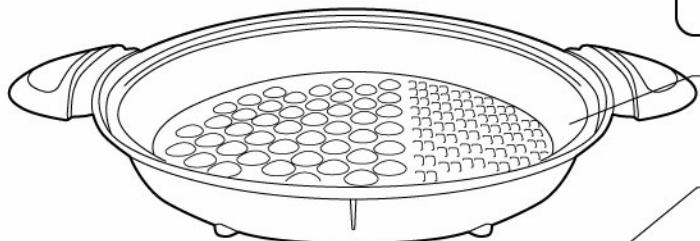
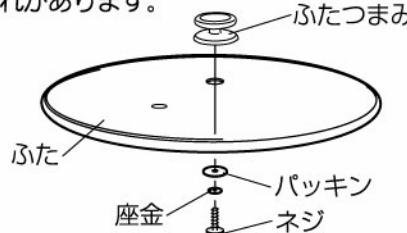
各部の名称



ふたつまみの取り付けかた

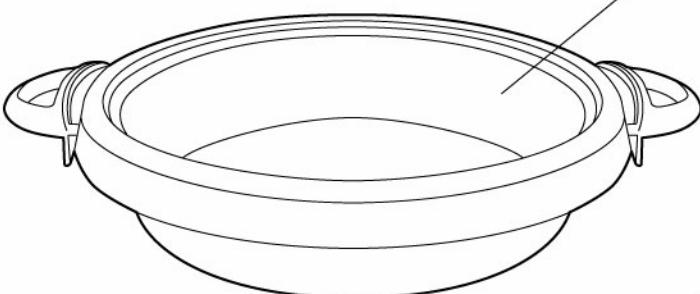
ふたつまみの取り付けは、ふたつまみのがたつき、緩みのない状態まで締め付け、それ以上締め付けないでください。

- 強く締め付けすぎたり、ふたつまみの取り付け順を間違えるとガラスふたやふたつまみが破損してけがをするおそれがあります。



焼き肉プレート

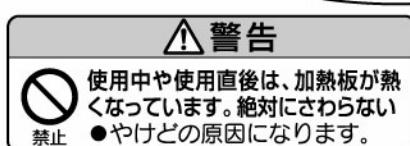
表面にフッ素樹脂加工が施されています。焼き肉などに適しています。



深鍋プレート

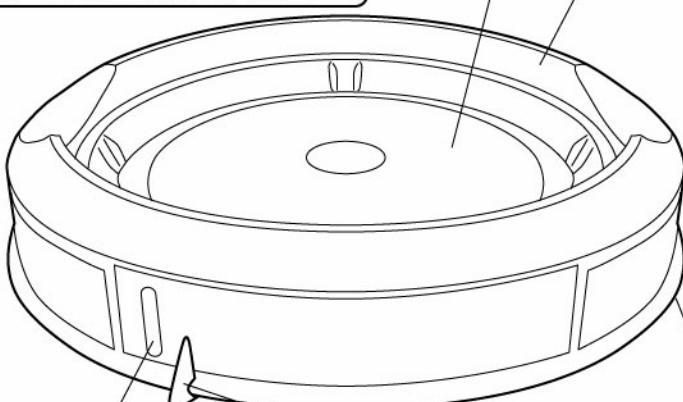
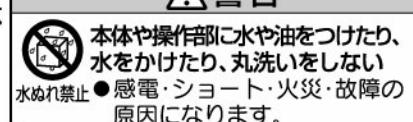
表面にフッ素樹脂加工が施されています。なべものはもちろん、ホットケーキ・焼きそば・焼き餃子なども調理できます。

- ※プレートには多少の色むらがありますが、ご使用の品質には支障ありません。
- ※長時間使用していると、調理物の油によって変色することがあります、ご使用に支障ありません。



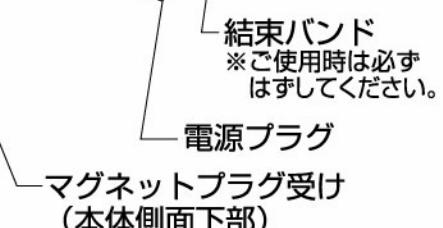
加熱板

本体



パイロットランプ
ご使用中は温度を一定に保つため、ついたり消えたりします。

温度調節つまみ



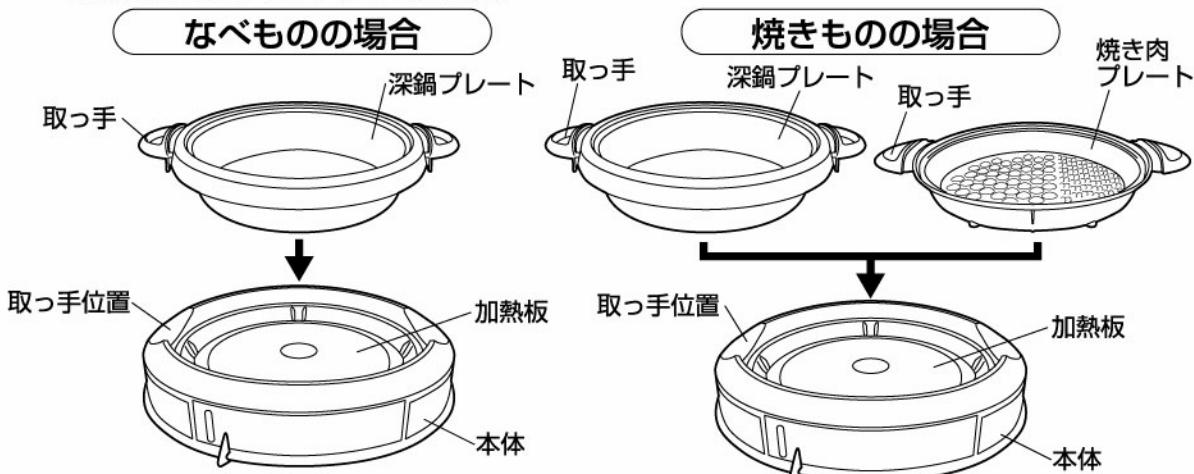
使いかた

- はじめてご使用になるときは、においや煙が出ることがありますが故障や異常ではありません。ご使用にともない出なくなりますので、そのままご使用ください。
- ご使用される前に必ず各部をきれいに拭いてください。

1.深鍋プレートまたは焼肉プレートを本体にセットする。

- 調理に合わせて、深鍋プレートまたは焼き肉プレートを本体にセットする。

※深鍋プレートや焼き肉プレートを本体にセットする場合、本体の取っ手位置にプレートの取っ手が合うようにセットしてください。



ご使用上の注意

※深鍋プレートや焼き肉プレートと加熱板の間には、水や油、調理物を入れないでください。
故障や感電・発火の原因になります。

※深鍋プレートや焼き肉プレートは傾きやがたつきがないようにセットしてください。また深鍋プレートと焼き肉プレートを2枚重ねて使用しないでください。調理物がこぼれたりけがややけど、故障の原因になります。

※ご使用中にプレートを交換したり、プレートを取りはずしたりしないでください。やけどの原因になります。

※本体底面の穴をふさがないでください。故障や火災の原因になります。

2.マグネットプラグをマグネットプラグ受けに差し込みます

- マグネットプラグやマグネットプラグ受けにゴミや金属物が付着していたら取り除いてください。

△ 注意



専用の電源コード以外を使用したり、他の機器に使用しない
●発火や故障の原因になります。

3.電源プラグをコンセントに差し込む

- 温度調節つまみが「切」になっているのを確認し、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

※結束バンドは必ずはずしてください。



△ 警告



交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用する。電源プラグは根元まで確実に差し込む
●交流100V以外での使用、または延長コードやたこ足配線などで使用すると感電やコンセント部が異常
指示に従う 発熱して発火や火災の原因になります。

使 い か た つづき

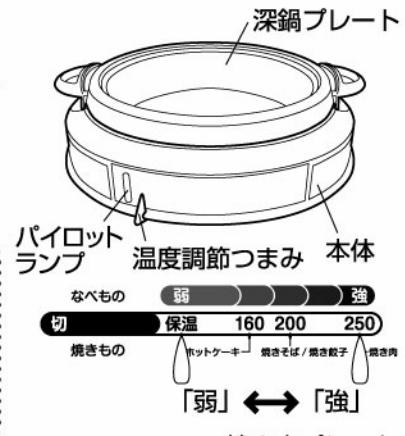
4.調理のしかた

ご使用上の注意

- ※使用中や使用直後は、深鍋プレートや焼き肉プレート、本体などが高温になっていますので絶対に触ったり、手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。
- ※本体の近くに熱に弱い容器類などを置かないようにしてください。変形や発火の原因になります。
- ※金属製の串（ピック）やフォーク、ヘラなどはご使用にならないでください。深鍋プレートや焼き肉プレートの表面に傷が付き、フッ素樹脂加工がはがれたり、腐食の原因になります。
- ※設定した温度に保つため、調理途中にパイロットランプが消えたり、ついたりしながら調理を続けますが故障ではありません。

■なべものを調理する場合（深鍋プレートを使用します）

- ①水、だし汁（スープ）を深鍋プレートに入れガラスふたをする。
- ②温度調節つまみを「強」に合わせる。（パイロットランプが点灯して通電をお知らせします）
- ③沸騰したらガラスふたをとり、材料を入れる。
- ④煮え具合により温度調節つまみで温度を調節する。



ご使用上の注意

- ※深鍋プレートをガスコンロで使用しないでください。深鍋プレートや取っ手が変形したり、プレートのフッ素樹脂加工がはがれ腐食の原因になります。
- ※調理中はふきこぼしに注意してください。故障の原因になります。

■焼きものをする場合（焼き肉プレートまたは深鍋プレートを使用します）

- ①料理に応じて温度調節つまみを合わせる。（パイロットランプが点灯して通電をお知らせします）
 - ②パイロットランプが消えたら調理をはじめる。
- ※プレートにはフッ素樹脂加工が施されていますが、必要により薄くサラダ油をひき使用してください。（フッ素樹脂加工が施されているため、多めの油は必要ありません。）
- ※焼き餃子や目玉焼き、ステーキなどの焼きものの料理にガラスふたを使うとできあがりが早くなります。



ご使用上の注意

- ※ステーキを焼く場合、ガラスふたと焼き肉プレートの間から油がとぶことがあります。ガラスふたを取るときは十分注意してください。

■調理温度の目安と料理例

目盛	160	200	250
温度の目安(約)	160°C	200°C	250°C
料理例	うす焼き卵 目玉焼き ホットケーキ	焼き餃子 お好み焼き 焼きそば	ステーキ 鉄板焼き 野菜炒め 焼き肉

5.調理が終わったら

- 温度調節つまみを「切」にして、コンセントから電源プラグを抜き、マグネットプラグをマグネットプラグ受けから抜きます。
- 7ページの「お手入れと保管」にしたがってお手入れをしてください。

△注意



本体のプラスチック（樹脂）部分に油を付着させたままにしない

●ご使用する油の種類によってはプラスチック（樹脂）を侵すものがあり、破損してけがや事故の原因になる可能性があります。油が付着した場合はきれいに拭き取ってください。

お手入れと保管

■お手入れや移動の際は、電源プラグを抜き本体が十分に冷めたのを確認してからおこなってください。

■電気グリルなべは、食品に触れる調理器具です。ご使用後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態を保ってください。

⚠ 警告



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電やけの原因になります。



本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 水ぬれ禁止 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



⚠ 注意



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になる場合があります。

お手入れはぬるま湯か中性洗剤などを使用してください。

※洗剤の種類によっては、中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用ください。

プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の原因になる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかりと拭き取ってください。



■深鍋プレート、焼き肉プレート、ガラスふた

- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、柔らかいスポンジを使って洗います。

洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで十分に水分を拭き取って乾燥させます。



…ご使用上の注意…

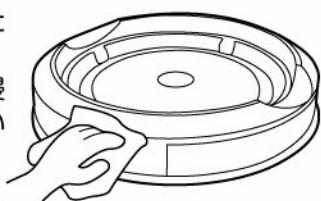
※調理物が残った状態や、異物がついたまま放置しないでください。

※深鍋プレートや焼き肉プレートの表面を金属製(ヘラ、ピックなど)のものや、たわしなどでこすると表面に傷が付き、フッ素樹脂加工がはがれたり、腐食の原因になりますので避けください。

■本 体

- 油汚れや調理くずなどは、ぬるま湯に浸した柔らかいふきんをかたくしづぶつて拭き取ってください。

- 落ちにくい汚れは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをかたくしづぶつて拭き、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。



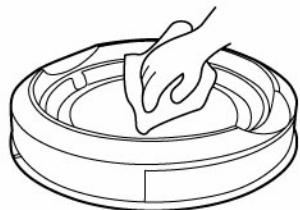
…ご使用上の注意…

※本体の丸洗いは絶対にしないでください。

お手入れと保管 つづき

■加熱板

- 油汚れや調理くずなどは、お湯に浸した柔らかいふきんをかたくしほって拭き取ってください。



.....ご使用上の注意

※加熱板に水をかけたり、丸洗いは絶対にしないでください。

フッ素樹脂加工を長持ちさせるために

深鍋プレートと焼き肉プレートの表面にはフッ素樹脂加工が施されています。フッ素樹脂加工面を保護するために次の点にご注意してください

- ①金属製の串（ピック）やフォーク・ヘラなどは、プレート表面に傷が付きフッ素樹脂加工がはがれたり、腐食の原因になりますので使用しないでください。
ヘラをご使用の際は、市販の耐熱樹脂製ヘラか木製ヘラをご使用ください。
- ②ヘラの先端や角部でプレートの表面を強くこすらないでください。またプレートの角部をヘラでこすらないでください。
- ③調理物が残った状態や、異物がついたまま放置しないでください。
- ④ご使用のたびに必ずお手入れをして、直射日光のあたらない場所に保管してください。

■保 管

- 保管の前には、必ずお手入れをおこなってください。
- お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ない場所に保管してください。（湿ったまま保管するとカビの発生や異臭、故障の原因になります。）

.....ご使用上の注意

- ※深鍋プレートや焼き肉プレート、ガラスふたをセットしたまま、傾けたり、立てたりしないでください。深鍋プレートや焼き肉プレート、ガラスふたがはずれて落下し、けがをしたり、故障や破損の原因になります。
- ※深鍋プレートや焼き肉プレートを重ねて収納する時は、必ずふきんなどの柔らかいものを間に入れて重ねてください。直接重ねるとプレート表面に傷がつく原因になります。

故障かな？と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
パイロットランプが点灯しない。	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
プレートの温度が上がらない	●温度調節つまみが「切」になっていませんか？	●温度調節つまみを調理温度に合わせてください。
パイロットランプがついたら消えたりする	●サーモスタッフのはたらきにより温度を調節しています。	●異常ではありませんので、そのままご使用ください。
使用中に『カチカチ』と音がする	●ヒーターの熱による金属の膨張によるものです。	●異常ではありませんので、そのままご使用ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コード、プラグに深い傷や変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●器具に触るとピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	→	★ 異常があれば	故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
●電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。	→	ほこりやごみを取り除いてください。	

仕 様

電 壓	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	1300W
製 品 尺 法(約)	幅：385mm×奥行：355mm×高さ：210mm
深鍋プレートの深さ(約)	65mm
深鍋プレートの容量(約)	3.0L
製 品 質 量(約)	3.8kg
コ 一 ド 長(約)	1.4m
温 度 調 節	「切」・保温～約250℃
安 全 装 置	温度ヒューズ・サーモスタッフ(自動温度調節器)
製 品 材 質	焼き肉プレート：アルミダイキャスト 深鍋プレート：アルミダイキャスト 本 体：PP(ポリプロピレン) ガラスふた：耐熱強化ガラス

アフターサービスについて

- ①この製品には保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の
「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を
お受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買上げの販売店に
ご依頼ください。保証書の記載内容により
修理いたします。その他詳細は保証書を
ご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理（有料）については
お買上げの販売店にご相談ください。

- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は
製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持
するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、
本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」
へお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報や
ご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのた
めに利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情
報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法など
のご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店
に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電
お客様サービス係」にご相談ください。

受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。
その際は、商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号
をご記入の上、ご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」
ナビダイヤル  **0570-077-078**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

フリーダイヤル
●FAXでのご相談は  **0120-680-287**

●メールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

J-090620